日本応用心理学会第70回大会第1日目に理事会,第2日目に総会が開かれた。常任理事会提出の原案は理事会においてすべて承認された。また,総会においても理事会承認事項がすべて承認された。

日本応用心理学会 2003 年度理事会

- 1. 日 時 2003年9月5日(金) 午前11時30分~午後12時40分
- 2. 場 所 流通科学大学 研究棟 V 棟 4 階会議 室
- 3. 出席者

常任理事: 岡村一成理事長,森下高治副理事長,稲毛教子,浮谷秀一,大橋信夫,荻野七重,垣本由紀子,鈴木由紀生,大坊郁夫,田之内厚三,外島 裕,内藤哲雄,長塚康弘,馬場房子,林潔,藤田主一,蓮花一己

名誉会員:內海 滉,大久保康彦,太田垣瑞一郎,大村政男,越河六郎,高島正士,田中昌人,花沢成一,正田 亘,森重 敏,山岡 淳

監事:高石光一

事務局:浮谷秀一事務局長,関口和代幹事

- 4. 報告事項
 - (1) 常任理事・理事長選挙について

(荻野前事務局長)

1) 2002 年 10 月, 郵送による常任理事選挙を 実施した結果, 常任理事は次のように決まっ た。

稲毛教子,浮谷秀一,大橋信夫,岡村一成, 荻野七重,垣本由紀子,神作 博,坂野 登, 鈴木由紀生,大坊郁夫,田之内厚三,所 正 文,外島 裕,内藤哲雄,長塚康弘,馬場房 子,林 潔,藤田主一,細江達郎,松浦常 夫,南 隆男,蓮花一己(22 名)

- 2) 常任理事を決定した後,11月に理事長選挙を実施し,岡村一成理事長を選出した。
- (2) 新役員・事務局体制について(岡村理事長) 選挙結果に基づき,今期(2003年4月~ 2006年3月)は資料のような体制で学会運 営をしていくことが説明された。
- (3) 事業報告

1) 会員の異動および会費納入状況

(浮谷事務局長)

2003年9月1日現在の会員数は,正会員 1,050名,名誉会員41名,学生会員0名,賛 助会員4名(岐阜県警,社会環境研究所,文 成印刷,山口県警),合計1,095名。今年度を 含めた過去3年間の会費未納者延べ428名。

- 2) 委員会報告
 - ①機関紙編集委員会(荻野委員長)
 - ・委員長が小野浩一氏から荻野七重氏に交代 した(2003年4月)。
 - 委員は、細江達郎、稲毛教子、垣本由紀子、 神作 博、松浦常夫、内藤哲雄、所 正文 の7名。
 - ・28 巻 1 号は 2002 年 9 月に発行した。
 - ・28巻2号は2003年1月に発行した。
 - ・29 巻 1 号は 2003 年 10 月刊行予定である。
 - ・29巻2号は2004年2月刊行予定である。
 - ・印刷所を(株)国際文献印刷社に変更した。
 - ②認定「応用心理士」認定審査委員会

(馬場委員長)

- ・学会会則を一部変更したことを受けて, 「第四版手引き」を郵送した。
- ・平成14年度後半期は7名,平成15年度 上半期は28名を認定した。
 - 8月20日現在222名(失効11名)。
- ・後半期の受付期間は、10月1日~11月末日。
- ③学会賞・奨励賞選考委員会(垣本委員長)
- ・2003 年度の学会賞・奨励賞受賞者は、委員会によって選考され、常任理事会によって承認された。

学会賞: 小野公一氏

受賞対象著書:「キャリア発達における メンターの役割―看護師のキャリア発 達を中心に―」(白桃書房 2003年)

奨励賞: 田中堅一郎氏

受賞対象論文:「組織市民行動と組織報復行動の生起・抑制に関する連鎖的モデルの検証」(応用心理学研究,28巻2号,2002年)

④国際委員会(長塚委員長)

- ・第 26 回国際応用心理学会(2006 年/ギリシャ)での国際シンポジウムの開催へ向けて検討している。原案作成後、常任理事会へ提案する。
- ・第25回国際応用心理学会(2002年/シンガポール)での発表を「応用心理学研究」へ投稿していただくよう働きかけてはとの意見が出た。
- ・応用心理学会における国際委員会の役割について検討している。海外研究者および在留研究者の招聘,在留の若手研究者・院生・学生との情報交換,海外への情報発信,アジアあるいは環太平洋地域を中心とした応用心理学会の開催(国際応用心理学会が4年ごとに開催されるため間隔があるので中間で),などの意見が出された。
- ⑤シンポジウム委員会(松浦委員長)
- ・11月22日(土)13時30分~16時30分 に東京富士大学にて公開シンポジウムを開 催する。テーマは、「高齢者の交通事故防止 対策:再教育の方法をめぐって」。企画・司 会が松浦常夫氏(自動車安全運転セン ター)、話題提供者として連花一巳氏(帝塚 山大学人文科学部)、太田博雄氏(東北工業 大学工学部)、鈴木由紀生氏(茨城大学人文 学部)、内田千枝子氏(警視庁運転免許本 部)、指定討論者として石田敏郎氏(早稲田 大学人間科学部)、森清善行氏(大阪学院大 学経営科学部)を予定している。

⑥研修委員会(林委員長)

- 研修と応用心理士との連動について検討していく。
- ・次年度も大会時に研修会を実施する。
- ⑦広報委員会 (藤田委員長)
- ・10 月末あるいは11 月初旬に、新体制後第 1 号のニュースレターを発行する。
- ⑧倫理綱領作成委員会(藤田委員長)
- ・審議事項にて報告する。
- ⑨諸規程検討委員会(浮谷委員長)
- ・理事長の3年任期制に伴い,関係規程を順次整備していく。

- (4) 2002 年度 (第 69 回) 大会報告 (岡村理事長)
 - ・大会参加人数,決算書について説明があり,了承された(資料)。
- (5) 日本心理学諸学会連合について

(荻野常任理事)

- ・6月21日第9回常任理事会が開催された。
- ・次期役員選挙を実施。理事長,副理事長, 常任理事を選挙により選出。
- ・「認定心理士」資格は、諸条件について合意が成立すれば、2年後を目処に連合の資格として委譲する。そのための合意事項について検討を進めていくことになった。
- ・学会,大会のあり方について検討した。
- (6) 2004 年度(第71回)大会について (外島大会準備委員会事務局長)
 - ・日本大学商学部にて開催。
 - ・9月第1週の週末開催に向けて準備中。
- (7) その他
 - ・福原真知子氏(名誉会員)より金20万円のご寄付をいただいた。

5. 審議事項

- (1) 2002 年度決算について(荻野常任理事)
 - ・審議の結果、原案どおり承認された(資料)。
- (2) 2003 年度予算について (岡村理事長)
 - ・審議の結果, 原案どおり承認された (資料)。
- (3) 名誉会員の推薦について (岡村理事長)
 - 審議の結果,次の2名を推薦することを承認した。なお,2001年度に推薦が決定されたが,手続き上のミスのあった1名の推薦も承認した。

秋山俊夫氏 福岡教育大学名誉教授稲毛教子氏 東京国際大学名誉教授坂野 登氏 神戸親和女子大学文学部人間科学科教授

(4) 日本応用心理学会倫理綱領について

(藤田常任理事)

- ・審議の結果,原案どおり承認された(資料)。
- (5) 2005 年度 (第 72 回) 大会当番機関について (岡村理事長)

- 福島学院大学にて開催することが承認された。
- 大会準備委員長は星野仁彦氏(福祉学部長),事務局長は玉井 寛氏。

2003 年度会員総会議事録

日 時:2003年9月6日(日)

午前 11 時 40 分~午後 12 時 40 分

- 場 所:通科学大学研究棟 V 棟 1 階 5104 教室
- 1. 開会(浮谷事務局長)
- 2. 理事長挨拶
- 3. 議長選出 森下大会委員長を選出
- 4. 報告事項
- (1) 常任理事・理事長選挙について

(荻野前事務局長)

- (2) 新役員・事務局体制について(岡村理事長)
- (3) 事業報告
 - 1) 会員の異動および会費納入状況

(浮谷事務局長)

- 2) 委員会報告
 - ①機関紙編集委員会(荻野委員長)
 - ②認定「応用心理士」認定審査委員会

(馬場委員長)

- ③学会賞・奨励賞選考委員会(垣本委員長)
- ④国際委員会(長塚委員長)
- ⑤シンポジウム委員会(松浦委員長)
- ⑥研修委員会(林委員長)
- ⑦広報委員会(藤田委員長)
- ⑧倫理綱領作成委員会(藤田委員長)
- ⑨諸規程検討委員会(浮谷委員長)
- (4) 2002 年度 (第 69 回) 大会報告 (岡村理事長)
- (5) 日本心理学諸学会連合について

(荻野常任理事)

- (6) 2004 年度(第71回)大会について (外島大会準備委員会事務局長)
- (7) その他

5. 審議事項

- (1) 2002 年度決算について(荻野常任理事)
 - ・審議の結果,原案どおり承認された(資料)。
- (2) 2003 年度予算について (岡村理事長)
 - ・審議の結果,原案どおり承認された(資料)。
- (3) 名誉会員の推薦について (岡村理事長)
 - ・審議の結果、次の2名を推薦することを承認した。なお、2001年度に推薦が決定されたが、手続き上のミスのあった1名の推薦も承認された。

秋山俊夫氏, 稲毛教子氏, 坂野 登氏

(4) 日本応用心理学会倫理綱領について

(藤田常任理事)

- ・原案通り承認された(資料)。
- (5) 2005 年度(第72回)大会当番機関について (岡村理事長)
 - ・福島学院大学にて開催することが承認された
 - ・大会準備委員長は星野仁彦氏(福祉学部 長),事務局長は玉井 寛氏。
- 6. 学会賞•奨励賞授与
- 7. 2004 年度第71 回大会開催校代表者挨拶 (日本大学商学部 嘉部和夫大会準備委員長)
- 8. 議長退任
- 9. 第70回大会委員長挨拶(森下大会委員長)
- 10. 閉会
 - 日本応用心理学会 役員・事務局体制 別掲
 - ・第69回大会参加人数および決算報告 別掲
 - 2002 年度決算書 別掲
 - 2003 年度予算書 別掲
 - 日本応用心理学会倫理綱領 別掲
 - 日本応用心理学会会則
 - ・日本応用心理学会「応用心理士」認定制度に関する規則

2003 年度第1 回常任理事会議事録

日 時:2003年4月4日(金)午後6時~8時

場 所:東京富士大学本館第二会議室

出席者:常任理事: 岡村一成理事長,森下高治副理事長,稲毛教子,荻野七重,垣本由紀子,大坊郁夫,田之内厚三,外島裕,内藤哲雄,長塚康弘,馬場房子,林潔,藤田主一,松浦常夫,南隆男

委任状:嘉部和夫,坂野登,鈴木由紀生,所 正文, 細江達郎,連花一己

名誉会員:内海 滉

事務局:浮谷秀一, 関口和代

I 理事長挨拶

- ・退任された荻野事務局長に対して、6年間のご 苦労に謝意を表すとともに、今後もご支援をお 願いした。
- ・森下前理事長に謝意を表すとともに、引き続き 副理事長としての協力をお願いした。
- ・挨拶に代えて下記の活動私案が示され、常任理 事会メンバーに協力をお願いした。
 - ①認定「応用心理士」の資格取得の推進,および認定料収入を活用した学会活動の活性化推 進。
 - ②若手研究者に対し支援することでの会員増の 推進。
 - ③年2回の公開シンポジウム開催を検討。
 - ④倫理綱領作成委員会で検討中の「本学会倫理 綱領」を完成させ、会員に周知徹底を図る。
 - ⑤諸規程を整備検討し、開かれた学会運営をしていく。
 - ⑥役員選挙,特に理事の選出方法について検討
 - ⑦常設の各委員会から活動計画の提案に基づい た学会活動の活性化推進。

II 報告事項

1. 事務局について

・理事長より今年度(2003年4月)からの事務局体制について説明がなされた。また、会則に則り、理事長の指名により事務局長には浮谷秀一常任理事が、理事長の委嘱により事務局幹事には関口和代会員が、それぞれ就任したことの報告がなされ、了承された。

- 2. 2003 年第70 回大会について
 - ・森下副理事長(大会委員長)より,近日中に 会員宛送付される「第2号通信」をもとに, 大会準備の経過報告がなされた。
 - ・第2号通信で触れられていなかった著作権 の帰属に関する記述については、研究発表の 申込者に対して改めて連絡することとした。
- 3. その他

・理事長より、名誉会員の福原真知子先生から、学会に20万円のご寄付をいただいたことが報告された。9月の会員総会にて報告する。

III 審議事項

- 1. 各委員会の委員長選出について
 - ・各委員会の委員長を、下記のとおり選出した。

機関紙編集委員会 委員長 荻野七重 認定「応用心理士」認定審査委員会 委員長 馬場房子

国際交流委員会委員長 委員長 長塚康弘

学会賞•奨励賞選考委員会

委員長 垣本由紀子 シンポジウム委員会

委員長 松浦常夫

研修委員会委員長

委員長 林 潔

広報委員会委員長

委員長 藤田主一

倫理綱領作成委員会

委員長 藤田主一

学会史編纂委員会

委員長 未定

日本心理学諸学会連合

理事 岡村一成 • 稲毛教子

- ・各委員長は常任理事および理事の中から委員 を選出し理事長に報告する。理事長は委員長 案を尊重し、調整を図ることになった。次回 常任理事会で各委員会委員を決定することに なった。
- ・委員会活動の継続性に留意した上で,委員を 選出する。

- ・委員の兼任は可とする。
- ・常任理事は、いずれかの委員会に所属する。
- 2. 交通費支給について
 - ・常任理事会および各委員会の交通費支給について、審議の結果、以下のように取り扱うこととなった。
 - ・首都圏以外からの出席者は、年度始めに経路と金額を事務局に申請し、それに基づき、幹線部分について、その都度、実費精算とする。また、幹線部分の実費に加え1,000円を支給する。
 - 首都圏からの出席者は,一律 1,000 円を支給 する。
- 3. 新入会審査および会員異動 (岡村理事長・浮谷事務局長)
 - ・入会希望者3名について審議した結果,以下 の3名の入会を承認した。

佐々木智城・中田安真音・中嶋正実

- 4. 電子メール利用について
 - ・常任理事会の開催通知などの連絡方法として 電子メールを利用する。希望によりファクス あるいは郵便にも対応する。また、電子メー ルおよびファクスを利用した場合の委任状に ついては、捺印不要で認めることになった。
- 5. その他
 - ・今後の常任理事会の開催予定を次のように決定した。

第2回 5月9日(金)午後6時~

(東京富士大学)

第3回 6月14日(土)午後1時~

(東京富士大学)

第4回8月 1日(金)午後1時~

(東京富士大学)

2003 年度第 2 回常任理事会 議事録

日 時:2003年5月9日(金)午後6時~8時

場 所:東京富士大学本館第二会議室

出席者:常任理事: 岡村一成理事長, 稲毛教子, 大橋信夫,荻野七重,垣本由紀子,嘉部和 夫,神作 博,田之内厚三,内藤哲雄,長 塚康弘,馬場房子,藤田主一,細江達郎, 松浦常夫,南 隆男

委任状: 坂野 登, 鈴木由紀生, 所 正文, 森下高

治, 蓮花一己

名誉会員:內海 滉,越河六郎,正田 亘 事務局:浮谷秀一,関口和代

- I 理事長より挨拶
- II 報告事項
 - 1. 2003 年第 70 回大会について

(岡村理事長代理報告)

- ・4月初旬に日本通運のメール便を利用し第2 号通信を送付。転居および宛先不明等で配達 できなかった43通を改めて郵送した。
- ・5月末日締め切りの発表申込み(ポスター発表中心)をお待ちしている。常任理事の先生方から大学院生などへ入会および発表を勧めていただきたい。また、今回企画している若手研究者対象のワークショップへの参加を勧めいただきたい。大会のホームページを作成中であり、近日中に公開する予定である。
- 2. 各委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会(荻野委員長)
 - ・投稿論文の審査状況について説明があった。
 - 2) 認定「応用心理士」認定審査委員会 (馬場委員長)
 - ・認定要件変更に伴い新しい手引きを作成中である。5月末までに完成させ、全会員に発送する予定である。今期の受付締め切り日は延期する。
 - 3) 国際委員会(長塚委員長)
 - 委員が決定しだい活動を始める。
 - 4) 学会賞・奨励賞選考委員会(垣本委員長)
 - ・委員決定後委員会を開催し、恒例の手続き を進める予定である。
 - 5) シンポジウム委員会(松浦委員長)
 - ・例年通り 2004 年 1 月あるいは 2 月にシンポジウムを開催する予定である。
 - 6) 研修委員会
 - ・特になし。
 - 7) 広報委員会(藤田委員長)
 - ・前委員長との引継ぎ終了後,委員会メン バーの先生方とメール等で連絡を取りなが ら活動の予定である。
 - 8) 倫理綱領作成委員会(藤田委員長)
 - ・委員決定後,連絡を取って進めていきた

い。次回6月の常任理事会で倫理綱領(案)を審議いただくことを予定している。

- 9) 学会史編集委員会は,一時中止とする。
- 3. 「第 19 期日本学術会議会員推薦人会議」の報告(浮谷事務局長)
 - ・5月8日に開催された会員推薦人会議において、会員3名を投票にて決定した。補欠 1名は協議によって決定した。後日、日本 学術会議より、正式に発表される。

4. その他

1) 第71回大会準備について

(嘉部大会準備委員長)

- ・開催日程を9月初旬に予定しているとの 報告があった。
- 2) 予算案作成について(岡村理事長)
 - ・次回常任理事会にて予算案を審議する予定 なので、各委員会委員長は5月末日までに 事業案を事務局まで提出していただくよう 依頼があった。
- 3) 宿泊補助についても検討していく。
- 4) 委任状について (メール利用のとき)
 - ・事務局にて委任状を作成し、常任理事会案 内時に添付ファイルとして送信する。

III 審議事項

- 1. 各委員会委員選出について(岡村理事長)
 - ・各委員長から提出された委員案を理事長が 調整し原案を作成した。その原案を承認し た。
- 2. 諸規程整備検討委員会(仮称)の創設について(岡村理事長)

委員会創設が承認された。諸規程を整備した 上,会員名簿発行の際,掲載したい。

- 3. 2002 年度決算について(荻野前事務局長)
 - 1) 2002 年度決算が報告され、承認された。
 - ・講演費については、例外はあったが会員 5,000円、会員外30,000円を原則とする。 ただし、今後はシンポジウム等の講演者を 会員の中からを選出いくよう提案があっ た。
 - ・機関誌について、投稿論文数を増加し年2 号から3号体制へとしてほしい、論文の投稿を促進してほしい、論文依頼のような形があってもよいのではないかなどの意見が

出された。

- ・会員増の一層の努力を希望する意見が出された。
- 4. 第72回大会(2005年)当番機関について (岡村理事長)
 - ・第71回大会(2004年)は日本大学商学部で開催されるので、首都圏以外での開催に向けて調整していきたい。次回常任理事会にて決定したいので、推薦機関等があれば事前に理事長までご連絡をいただくように依頼があった
- 5. 「応用心理士」申請手続きについて

(馬場委員長)

- ・「応用心理士」資格を取得されていない理事 以上の先生方に、取得をお勧めすることとし た。
- 6. 新入会審査および会員異動

(岡村理事長・浮谷事務局長)

・入会希望者 19 名について審議した結果, 18 名を承認, 1 名は確認のうえ承認することになった。次回の常任理事会までに入会希望者があった場合には, 理事長・事務局長が確認のうえ承認し, 次回理事会に報告することとなった。

施 桂栄・安藤百合子・中尾彩子・大野高 志・神谷有里子・松尾千尋・雨森雅哉・木村 友昭・高見理恵子・今留 忍・臼井恵美・田 坂綾子・滋野和恵・牛 海英・佐藤恵美・二 ノ村玲子・森上幸夫・真壁 聡・長谷中崇志

- ・5月8日現在の会員数は、一般会員966名、 学生会員0名、賛助会員4名、名誉会員41名。
- 日本オンラインカウンセリング協会からの後 援依頼について(浮谷事務局長)
 - ・審議の結果、後援しないこととした。
- 8. その他
 - 交通費等について
 - ・常任理事会と同一日に開催された委員会においては、委員の交通費等は支給しない。 ただし、常任理事会に出席されない委員には交通費を支給する。常任理事会と委員会は同じ扱いとする。
 - 2) 常任理事会議事録は、常任理事会メンバー

のみに配布する。

2003 年度第 3 回常任理事会議事録

日 時:2003年6月14日(土)午後1時~3時

場所:東京富士大学本館地下第一会議室

出席者:常任理事: 岡村一成理事長,森下高治副理事長,稲毛教子,荻野七重,垣本由紀子,嘉部和夫,坂野登,鈴木由紀生,大坊郁夫,田之内厚三,外島裕,長塚康弘,馬場房子,藤田主一,松浦常夫,

委任状:大橋信夫,神作 博,所 正文,内藤哲雄, 細江達郎,南 隆男,蓮花一己

事務局:浮谷秀一, 関口和代

I 理事長より挨拶

II 報告事項

- 1. 第70回大会について(森下大会準備委員長)
 - 1) 6月11日現在の参加申し込み状況について
 - ・発表申込みは約130件(口頭発表約50件/ポスター発表約80件)。今後、口頭発表とポスター発表の割振り等、調整していきたい。
 - ・研修会参加申込者は15~20名程度。院生などへ参加の呼掛けをお願いしたい。
 - 2) 変更点
 - ・二日目の開始時間を10分早めた。
 - 3) その他
 - ・大学と懇親会会場は電車で30分程度。
 - ・若手ワークショップ参加者は、懇親会終了 後セミナーハウスまでスクールバスで送 ス
 - ・会員総会は,第69回大会同様お弁当を準備する予定。
 - ・特別講演・公開シンポジウムは、中央労働 災害防止協会および兵庫県と神戸市の社会 福祉協議会の後援を受けており、社会福祉 に携わる方々の参加が見込まれる。
 - ・7月初旬までに第70回大会のポスターを 作製する。近畿圏の大学を中心に掲示を依 頼し、参加を呼掛けたい。また、常任理事 にも送付するので、掲示願いたい。
- 2. 各委員会報告
 - 1) 機関紙編集委員会(荻野委員長)

- ・投稿論文の審査状況について説明があり、 大会前の発行は困難である旨報告された。
- ・本日,常任理事会後に,編集委員会を開催 する。
- 2) 認定「応用心理士」審査委員会

(馬場委員長)

- ・前委員会より引き継いだ「手引き」が完成し6月10日に全会員へ発送した。
- ・「手引き」の完成が遅れたため、今回は資格認定申請受付期限を7月10日とした。
- ・会員へ取得を勧めるようにお願いしたい。
- ・認定証明証はプラスティックカードに変更した。従来のカードを新しいプラスティックカードへの変更を希望される場合は、写真と従来のカードを事務局宛にお送りいただくと、無料で作成して、新旧のカードを返送する。
- 3) 国際委員会(長塚委員長)
 - ・委員会は開催していないが、電子メールを 利用して委員同士の意見交換をしている。
 - ・国際応用心理学会(06年/ギリシャ)へ向けて、国際シンポジウム開催(テーマ・人選など)への準備、参加者への助成として積立金予算の計上など検討している。
 - ・アジア応用心理学会創設の提案および他学 会との連携について検討している。
- 4) 学会賞・奨励賞選考委員会(垣本委員長)
 - ・10件の推薦があった。大会時の授与に向けて、審査を行っていく。
- 5) シンポジウム委員会(松浦委員長)
 - ・前担当の藤田先生からの資料提供を受け協議した。
 - ・年内開催を計画中。8月にシンポジウムの 企画者と会合を計画している。
- 6) 研修委員会(外島委員: 林委員長代理)
 - ・第70回大会時の研修会開催は、大会事務 局と協力していきたい。業務分担について は検討中。
 - 次年度研修会の企画している。
 - ・年次大会時以外の研修会開催等について検 討している。
 - ・次回常任理事会前に委員会を開催する。
 - ・研修会講師の略歴を作成し,第70回大会

事務局へ送る。

- 7) 広報委員会(藤田委員長)
 - ・ニュースレターは、年 $2\sim3$ 回の発行を予定している。
 - ・第70回大会終了後,今年度ニュースレター第1号を発行する予定。新理事長の挨拶,第70回大会委員長の大会報告を掲載する。
 - ・記事内容については委員会で検討し決定する。
- 8) 倫理綱領作成委員会(藤田委員長)
 - ・審議事項で検討していただく。
- 9) 諸規程検討委員会(浮谷委員長)
 - ・必要なところから整備していく。
- 3. その他
 - ・ 荻野前事務局長から会計監査が終了した旨, 報告があった。

III 審議事項

- 1. 2003 年度予算案について (岡村理事長)
 - ・理事長より資料を基に予算案の説明があり、 審議を経て原案どおり承認された。
 - ・謝金の源泉徴収は、学会としては行わないことを確認した。
- 2. 倫理綱領(案)について(藤田委員長)
 - ・藤田委員長より資料を基に説明があり、内容、文案について審議した。今回の審議を参考にした案を次回常任理事会に提出することになった。
- 3. 第72回大会当番機関について(岡村理事長)
 - ・福島学院大学(福祉学部/玉井寛準備委員長)の案が提出され承認された。
- 4. 新入会審査および会員異動

(岡村理事長·浮谷事務局長)

・理事長・事務局長にて承認を行った30名について説明があり了承された。また、8名の一般会員と1名の学生会員について審議され、承認された。

鑑 さやか・中村雅弘・武田真弓・廣瀬まゆみ・三井公一郎・高橋完介・高村 茂・中村二三夫・星野仁彦・麻生美由姫・服部隆志・島田 修・松浦里映・大武陽子・安彦貴弘・関本潔子・薦田未央・篠崎由紀子・井出文人・道城裕貴・森 愛・中村美砂・鈴木智

裕・松見淳子・向山泰代・細田 聡・橋本衣 可・佐伯和香子・上田晃子・池見淳一・田井 中秀嗣・前田明日香・小西奈美・下方友子・ 竹中桂子・九十九綾子・伊藤忠之・小牟田美 幸・大倉健宏

・6月13日現在,正会員1023名,名誉会員41名,賛助会員4名である。

5. その他

・院生の会費について 院生会員の年会費軽減について提案があった が、値下げをすることはできないので、違う 方法で対応できないかを今後検討はしていく こととした。

2003 年度第 4 回常任理事会 議事録

日 時:2003年8月1日(金) 午後1時~4時

場 所:東京富士大学本館第一会議室 出席者:常任理事:岡村一成理事長,森下高治副理

事長, 荻野七重, 大橋信夫, 垣本由紀子, 神作 博, 坂野 登, 鈴木由紀生, 大坊郁夫, 田之内厚三, 外島 裕, 内藤哲雄, 長塚康弘, 林 潔, 藤田主一, 松浦常夫, 南 降男

委任状:稲毛教子, 所 正文, 馬場房子, 細江達郎 名誉会員: 内海 滉, 正田 亘 事務局: 浮谷秀一, 関口和代

I 理事長より挨拶

・挨拶の中で,第72回大会当番機関として予定されている,福島学院大学の大会準備委員長を星野仁彦福祉学部長(会員)に変更したい旨,申し出があったことが報告され,了承された。

II 報告事項

1. 2003 年度第70回大会について

(森下大会準備委員長)

・7 月末日現在の参加申込み状況について説明があった。大会参加申込みは約190名。発表申込みは139件(口頭発表36件,ポスター発表93件,ワークショップ10件)。研修会参加申込みは、A30名、B20名。・若手ワークショップは、「発達・臨床」約7名。「人事アセスメント」は「小講演と討議」に変更、講演者2名、発表者10名。公開シンポジウ

ムには、非会員 100 名前後の参加が見込まれる。

- 2. 2004 年度第71 回大会について
 - (外島大会準備委員会事務局長)
 - ・9月第1週の週末開催に向けて準備中。
- 3. 各委員会報告
 - 1) 機関紙編集委員会(荻野委員長)
 - ・29巻1号は、10月頃の刊行予定。
 - ・投稿論文の審査状況について説明があった。
 - ・本日,常任理事会後に,編集委員会を開催 し,国際文献印刷への印刷所の変更,査読 方法等について検討する。
 - 2) 認定「応用心理士」認定審査委員会

(田之内委員)

- 7月18日に委員会開催。
- ・前期(4月1日~5月末日)受付分の審査を実施。なお、「手引き」の完成送付が遅れたことから、7月10日までに到着したもの28名を審査した。「手引き」の基準にしたがって審査した結果、28名全員を認定した。
- ・名誉会員,常任理事,理事,監事には,率 先して応用心理士資格を取得していただき たいことを委員会としてお願いする。
- 3) 国際委員会(長塚委員長)
 - 7月24日に委員会開催。
 - ・国際応用心理学会(06年/ギリシャ)での 国際シンポジウムの開催へ向けて検討。原 案作成後,常任理事会へ提案。また,国際 応用心理学会での発表を「応用心理学研 究」へ投稿していただくよう働きかけては との意見が出た。
 - ・応用心理学会における国際委員会の役割について検討。

海外研究者および在留研究者の招聘,在留の若手研究者・院生・学生との情報交換,海外への情報発信などが案として出された。また,国際応用心理学会は,4年毎に開催されるため間隔があるので,中間で,アジアあるいは環太平洋地域を中心とした応用心理学会の開催なども提案された。

- 4) 学会賞·奨励賞選考委員会(垣本委員長)
 - 7月19日に委員会開催。
 - ・審議事項にて報告する。
- 5) シンポジウム委員会(松浦委員長)
 - 8月1日に委員会開催。
 - 11月22日の公開シンポジウム開催に向けて準備中。
- 6) 研修委員会(林委員長)
 - ・第70回大会研修会では、A は外島委員、B は大坊委員に司会をお願いした。
 - ・次年度研修会の企画,大会開催時以外の研修会開催等について検討。
 - ・「応用心理士」資格との関係を含め、応用 心理学会における研修委員会の役割につい て検討。
- 7) 広報委員会(藤田委員長)
 - ・12月までに、新体制後第1号のニュースレターを発行したい。
- 8) 倫理綱領作成委員会(藤田委員長)
 - ・審議事項にて報告する。
- 9) 諸規程検討委員会(浮谷委員長)
 - ・各委員会で、それぞれの諸規程を見直していただき、それをもとに検討していきたい。また、会員総会で審議するもの、(常任)理事会で審議するものとに分けて検討していきたい。
- 4. 日本心理学会諸学会連合第9回理事会報告 (岡村理事長)
 - ・6月21日の理事会に、岡村・稲毛両理事が出席。
 - ・次期役員選挙を実施。理事長に辻 敬一郎,副理事長に森正義彦,市川伸一,常任 理事に柏木,織田,岩崎,岡,監事に岡田, 松原各理事が選出された。
 - 「認定心理士」資格は、諸条件につき合意 が成立すれば、2年後を目処に連合の資格 として委譲する。そのための合意事項につ いて検討を進めていく。
 - ・筆記試験によって心理学の基礎知識を認定 する試験についても、内容、実施方法等に ついて、具体的な検討が進められている。
 - ・任意団体の日心連が認定心理士を認定する 場合、参加各学会は税務調査が実施される

可能性がある。

5. その他

- 1) 日本学術会議に、荻野・浮谷両常任理事が出席。
- 2) 常任理事会出席時の宿泊費について当面 5.000 円補助することにした(事務局長)。
 - ・なお、宿泊領収書または宿泊証明書を必要とする。
- 3) 特別講演の謝金における源泉徴収について (森下副理事長)
 - ・任意団体においても必要であるという見解から、謝金支払い時の源泉徴収処理を実施したいと申し出があった。これに対し、大学関係の税理士等、専門家の意見を聞き対処することになった。

III 審議事項

1. 新入会審査および会員異動

(岡村理事長・浮谷事務局長)

・入会希望者7名について審議した結果,全員 承認された。

近藤正樹・主濱治子・栗田真樹・佐々木妙 子・山内和枝・菊池洋子・山内香奈

- 7 月 31 日現在, 正会員 1,043 名, 名誉会員 41 名, 贊助会員 4 名, 計 1,088 名。
- 2. 名誉会員推薦について (岡村理事長)
 - ・本年度,総会で推薦する名誉会員について審議の結果,稲毛教子氏,坂野登氏の2名を推薦することになった。なお,2001年度推薦を決め,手続き上のミスのあった,秋山俊夫氏も併せて推薦することとした。
- 3. 学会賞・奨励賞について(垣本委員長)
 - 委員会案を審議し承認した。
- 4. 若手研究者支援について

(岡村理事長・森下副理事長)

- ・大会における研究発表費(5,000 円)および 懇親会参加費(5,000 円)の半額免除が提案 された。なお、免除分は学会予算から支出す る。この件は、試算のうえ、次回再提案する こととなった。
- ・「応用心理士」収入の有効活用について検討する。
- 5. 倫理綱領(案)について(藤田委員長)
 - ・前回の審議を踏まえ案が提出され、審議の結

果, 原案どおり承認された。

- ・また、後日、意見等があれば、藤田委員長ま で連絡をする。
- ・理事会でスムースに審議できるように、この 倫理綱領(案)を理事全員に送付しておくこ とになった。
- ・なお、内容については、毎年見直しをすることが確認された。

2003 年度第 5 回常任理事会議事録

日 時: 2003 年 11 月 22 日(土)午前 11 時 30 分 ~午後 12 時 30 分

場 所:東京富士大学本館1階第二会議室

出席者:常任理事: 岡村一成理事長, 稲毛教子, 大 橋信夫, 荻野七重, 垣本由紀子, 坂野 登, 鈴木由紀生, 田之内厚三, 内藤哲雄, 馬場 房子, 玉井 寛, 松浦常夫, 蓮花一己

委任状:大坊郁夫,所 正文,藤田主一,細江達郎, 南 隆男

名誉会員:越河六郎,正田 亘

事務局:浮谷秀一, 関口和代

- I 理事長より挨拶
 - ・第70回大会委員長より、残金140万円の寄付の申し出があった。利用法としては、若手研究者支援のために活用されることを希望した。

II 報告事項

- 1. 各委員会報告
 - 1) シンポジウム委員会(松浦委員長)
 - ・本日開催される 2003 年度公開シンポジウムについて案内があった。
 - 2) 機関紙編集委員会(荻野委員長)
 - ・29巻2号は、2004年1月末刊行の予定。
 - ・投稿論文の審査状況について説明があった。
 - ・公開シンポジウムの抜刷りはシンポジスト 1人につき30部は学会負担とする。その ほかについては、機関誌発行予算枠内で検 討していくこととする。
 - 3) 認定「応用心理士」認定審査委員会

(田之内委員)

- ・ニュースレターに,応用心理士資格取得者 の名簿を掲載。
- 年内に委員会を開催する予定。

- ・後期の受付は11月末日まで。
- 4) 国際交流委員会
 - ・特になし。
- 4) 研修委員会(浮谷事務局長が代読)
 - ・2004年度も大会期間中に実施する予定。 III 審議事項
 - ・研修会の講師は、正田 亘先生、小野公一 先生にお願いする。
- 6) 広報委員会(藤田委員長)
 - ・11月下旬に、新体制後初のニュースレ ターを発行した。
- 7) 倫理綱領作成委員会(藤田委員長)
 - ・ニュースレターに、総会で承認された倫理 綱領の全文を掲載した。
 - ・本委員会は時限的な委員会であったので解 2. 後援依頼について 散する。
 - 今後、細則等を制定のための委員会を別途 立ち上げる。

- 8) 日本心理学会諸学会連合第9回理事会報 (岡村理事長)
 - ・12月3日に会議の開催予定であるので、 次回常任理事会時に報告する。

1. 新入会員審査および会員異動

(岡村理事長・浮谷事務局長)

新入会申込者 11 名について審査をした。10 名については承認。1名については、職歴な どを確認後承認することとした。

濱田秀彦・寺田 晃・西出有輝子・山崎晴 美·姬野深雪·倉持 隆·小林美穂子·土合 千春• 西平宏子• 福島泰子

- ・判断は事務局に任せる。情報は、常任理事へ のメールで問い合わせる。

日本応用心理学会 役員・事務局体制

(任期: 2003年4月1日~平成2006年3月31日)

理 事 長:岡村一成

副 理 事 長: 森下高治(*)→嘉部和夫(2003年9月7日より交代)

常 任 理 事:稲毛教子、浮谷秀一、大橋信夫、荻野七重、垣本由紀子、神作 博、坂野 登、鈴木由紀生、 大坊郁夫, 田之内厚三, 所 正文, 外島 裕, 内藤哲雄, 長塚康弘, 馬場房子, 林 潔, 藤田主一,細江達郎,松浦常夫,南隆男,蓮花一己,嘉部和夫(**)

(2003年9月7日より交代)

事:安達喜美子,秋葉英則,井上枝一郎,上野 矗,尾入正哲,大山俊男,小野浩一,嘉部和夫, 理 鎌形みや子,神田信彦,神田久男,川邊 譲,川本利恵子,桐生正幸,久米 稔,久東光代, 佐藤啓子, 鈴木康平, 玉井 寛, 田中真介, 谷口泰富, 手塚太郎, 土屋明夫, 福井嗣泰, 松田浩平、松下由美子、松山とし子、三戸秀樹、向井希宏、森下高治、八木孝彦、山本 寛、 山本恵一, 吉田 悟, 渡辺昭一

事:高石光一,藤森立男

事務局長:浮谷秀一 事務局幹事: 関口和代

> 注: (*) 副理事長は、当該年度の大会準備委員長がこれにあたる。(会則第6条3) (**) 次期大会準備委員長は、その在任中、常任理事に就任する。(会則第7条4)

- 委員会(◆は常設委員会,◇は臨時委員会,◎は委員長)
 - ◆機関誌編集委員会

◎荻野七重,細江達郎,稲毛教子,垣本由紀子,神作 博,松浦常夫,内藤哲雄,所 正文

◆認定「応用心理士」認定審査委員会

- ◎馬場房子, 森下高治, 蓮花一己, 田之内厚三, 玉井 寛, 山本 寛
- ◆学会賞·奨励賞選考委員会
 - ◎垣本由紀子,林 潔,荻野七重,坂野 登,浮谷秀一
- ◆国際交流委員会
 - ◎長塚康弘, 林 潔, 垣本由紀子, 松浦常夫, 内藤哲雄
- ◆シンポジウム委員会
 - ◎松浦常夫,南 隆男,大橋信夫,鈴木由紀生,所 正文
- ◆研修委員会
 - ◎林 潔,大坊郁夫,外島 裕,福井嗣泰,松田浩平,森下高治,嘉部和夫
- ◆広報委員会
 - ◎藤田主一,大坊郁夫,林 潔,田之内厚三,外島 裕
- ◇倫理綱領作成委員会 (継続)
 - ◎藤田主一, 浮谷秀一(田中昌人)(福原真知子)
- ◇諸規程整備検討委員会(新規)
 - ◎浮谷秀一,藤田主一,森下高治,荻野七重 日本心理学諸学会連合 理事 岡村一成,稲毛教子

【日本応用心理学会事務局】

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 (株)国際文献印刷社内 TEL: 03-5389-6491・FAX: 03-3368-2822・E-mail: jaap-post@bunken.co.jp 学会ホームページ http://www.soc.nii.ac.jp/jaap/

【日本応用心理学会「機関誌編集」事務局】

〒187-8570 東京都小平市小川町 1-830 白梅学園短期大学心理学科 荻野研究室内 TEL: 042-346-5622 • FAX: 042-349-7373

【日本応用心理学会認定「応用心理士」事務局】

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-1 東京富士大学 応用心理学研究室内 FAX: 03-5386-2451 • (TEL: 03-5330-0088)

日本応用心理学会 第69回大会報告書

大会開催内容

研究発表	口頭発表	87 件	ワークショップ	2 件
	ポスター発表	18件	公開シンポジウム	3 件
	計	105 件	研修会	2 件

大会参加者

/\Z>m-					
	予約	一般会員	156 名		
	1, 44,0	院生会員	34 名		
		一般会員	58 名		
		院生会員	1 名		
		臨時一般会員	13 名		
【大会】	当日	臨時院生会員	7名		
		臨時学生会員	5 名		
		名誉会員	17 名		
		招待者	26 名		
		シンポ参加者等	8名		
	合計		325 名		
	予約	一般会員	51 名		
	J*#9	院生会員	11 名		
【懇親会】		一般会員	18 名		
【恋枕云】	当日	臨時一般会員	3 名		
		臨時院生会員	1 名		
	合計		84 名		
	予約	一般•院生会員	54 名		
【研修会】	当日	一般・院生会員 20名			
【如形艺】	===	非会員	4名		
	合計		78 名		

発表取消、欠席および氏名訂正

【発表取消】

第1日目(9月7日)

発達 15. 思春期の生徒における A.A.E と向社会的行動に関する研究 岩手大学教育学部教育学研究科 〇中嶋真理,岩手大学 菅原正和。

【欠席】

公開シンポジウム III 9.11 事件以降における平和心理学の課題 〈話題提供者〉田中昌人氏

〈指定討論者〉中川作一氏

【氏名訂正】

公開シンポジウム I EQ (EI) の測定と教育 〈話題提供者〉後藤美智子氏を藤原美智子氏に訂正

日本応用心理学会第69回大会決算報告

於:東京富士大学

収入					支出	
	摘要		金額	摘要		金額
大会参加費			1,345,000	印刷費		1,126,284
(内訳)	正会員 (予約)	5,000 円×156 名	780,000	(内訳)	プログラム (×2,000)	367,500
	正会員(当日)	6,000 円× 58 名	348,000		論文集(×400)	283,500
	院生 (予約)	3,000 円× 34 名	102,000		大会封筒長 3(×2,500)	34,650
	院生(当日)	4,000 円× 1 名	4,000		大会封筒角 2(×2,500)	50,400
	学生	1,000 円× 5 名	5,000		大会案内 (×1200)	24,150
	臨時会員 (一般)	6,000 円× 13 名	78,000		論文集作成要領 (×1200)	25,200
	臨時会員 (院生・学生)	4,000 円× 7 名	28,000		ホルダー (×1,000)	141,750
発表費		5,000 円×144 名	720,000		プログラム・論文集作成経費	199,134
論文集	代金		510,000			
(内訳)	個人 (予約)	5,000 円×60 删	300,000	通信費		646,047
	個人(当日以降)	6,000 円×35 ∰	210,000	(内訳)	1 号通信(×1.038)	166,080
研修会			55,000		2 号通信 (×1146)	348,957
(内訳)	予約	500 円×54 名	27,000		その他	131,010
	当日	1,000 円×20 名	20,000			
	当日 (非会員)	2,000 円× 4 名	8,000	謝礼		661,000
懇親会	費		418,000	(内訳)	シンポジスト謝礼	90,000
(内訳)	一般 (予約)	5,000 円×51 名	255,000		その他謝礼	25,000
	一般(当日)	6,000 円×21 名	126,000		人件費(アルバイト代)	546,000
	院生・学生 (予約)	3,000 円×11 名	33,000			
	院生•学生(当日)	4,000 円× 1 名	4,000			
広告掲載料		370,000	懇親会	費	846,000	
(内訳)		30,000 円× 2 社	60,000	会合費		196,910
		20,000 円×11 社	220,000	消耗品	• 会場備品	207,548
		10,000 円× 59 社	90,000	大会運	営費	434,211
補助金	学会本部		700,000			
合計			4,118,000	合計		4,118,000

大会決算報告をいたします。

2003年3月20日

監査の結果、上記の収支が適正であることを認めます。

2003年3月31日

以上のとおり、ご報告いたします。

2003年9月5日

東京富士大学 第69回大会事務局長 浮谷秀一 @

橋本博行 ⑩ 東京富士大学 広報室次長

東京富士大学 第 69 回大会委員長 岡村一成 ⑩

日本応用心理学会 2002 年度決算

(2003/5/9 常任理事会資料)

収入					
項目	実行額	予算額	項目	実行額	予算額
会費 過年度分 67×6,000 本年度分 844×6,000 (7,000 円 6 件を含む) 賛助会費 4 件	5,508,000 402,000 5,106,000 60,000	5,400,000 240,000 5,160,000 60,000	第 69 回大会補助費 学会賞・奨励賞 心理学諸学会連合 シンポジウム・講演費 「応用心理士」関係経費	700,000 100,000 45,000 357,000 347,816	700,000 100,000 45,000 500,000 420,000
認定「応用心理士」関係 審査料(13名) 認定料(13名) 寄付金	520,000 130,000 390,000 200,000	620,000 170,000 450,000	委員会活動費 学会史編集委員会 機関誌編集委員会 学会賞・奨励賞選考委員会 シンポジウム委員会	491,823 0 108,758 0 159,404	1,350,000 100,000 200,000 50,000 100,000
福原真知子氏より雑収入	243,999	250,000	国際交流委員会 広報委員会 研修委員会	85,880 41,780 30,000	400,000 100,000 200,000
特別企画積立金取り崩し	300,000	300,000	倫理綱領作成委員会 選挙管理委員会	49,501 16,500	200,000
			印刷費 機関誌 広報関係 その他 通信費	$ \frac{1,753,240}{1,400,335} $ $ 187,425 $ $ 165,480 $ $ \frac{404,178}{144,398} $	$ \begin{array}{r} 2,300,000 \\ 1,800,000 \\ 200,000 \\ 300,000 \\ \hline 800,000 \\ \hline 250,000 \\ \end{array} $
			機関誌郵送費 広報関係郵送費 その他(名簿他)	259,780 0	200,000 200,000 350,000
			常任理事交通費 アルバイト費 事務局費 国際応心補助金 予備費	655,350 1,192,800 684,796 280,000	800,000 1,200,000 700,000 400,000 351,163
小計	6,831,999	6,630,000	小計	7,012,003	9,666,163
前年度繰越金総額 名簿作成積立金 特別企画積立金 前年度繰越金	5,536163 500,000 1,200,000 3,836,163	5,536,163 500,000 1,200,000 3,836,163	次年度繰越金総額 名簿作成積立金 特別企画積立金 次年度繰越金	5,356,159 1,000,000 1,500,000 2,856,159	2,500,000 1,000,000 1,500,000 0
合計	12,368,162	12,166,163	合計	12,368,162	12,166,163

以上のとおり相違ありません。 2003 年 7 月 30 日

監査委員 山本 寛 印

藤森立男 印

監査委員

日本応用心理学会 2003 年度予算書

ī	収入				
項目	予算額	前年度決算額	項目	予算額	前年度決算額
会費	5,940,000	5,508,000	第70回大会補助費	700,000	700,000
過年度分(100名)	600,000	40,200	学会賞•奨励賞	100,000	100,000
本年度分(890 名)	5,340,000	5,106,000	心理学諸学会連合	45,000	45,000
			シンポジウム・講演費謝金	300,000	357,000
賛助会費	60,000	60,000	研修会講師謝金	100,000	_
			国際交流費	300,000	_
			「応用心理士」関係経費	850,000	347,816
「応用心理士」関係	1,200,000	520,000			
審査料(30名)	300,000	130,000	委員会活動費	850,000	491,823
認定料 (30 名)	900,000	390,000	機関誌編集委員会	200,000	108,758
			学会賞•奨励賞選考委員会	50,000	0
寄付金	0	200,000	シンポジウム委員会	150,000	159,404
			国際交流委員会	100,000	85,880
雑収入	250,000	243,999	広報委員会	100,000	41,780
			研修委員会	100,000	30,000
名簿作成積立金取り崩し	1,000,000	0	倫理綱領作成委員会	100,000	49,501
			諸規程整備検討委員会	50,000	_
			選挙管理委員会		16,500
特別企画積立金取り崩し	0	300,000			
			印刷費	3,400,000	1,753,240
			機関誌	1,500,000	1,400,335
			広報関係	200,000	187,425
			名簿作成費	1,200,000	
			その他	500,000	165,480
			通信費	600,000	404,178
			機関誌郵送費	200,000	144,398
			広報関係郵送費	250,000	259,780
			その他	150,000	0
			常任理事交通費	800,000	655,350
			事務局運営費	500,000	684,796
			事務局委託費(アルバイト費)	1,000,000	1,192,800
			国際応心補助金	0	280,000
			予備費	761,159	0
小計	8,450,000	6,831,999	小計	10,306,159	7,012,003
前年度繰越金総額	4,356,159	5,536,163	次年度繰越金総額	2,500,000	5,356,159
名簿作成積立金	0	500,000	名簿作成積立金	500,000	1,000,000
特別企画積立金	1,500,000	1,200,000	特別企画積立金	2,000,000	1,500,000
前年度繰越金	2,856,159	3,836,163	次年度繰越金	0	2,856,159
合計	12,806,159	12,368,162	合計	12,806,159	12,368,162

日本応用心理学会倫理綱領

前文

応用心理学は、心理学の諸分野における研究の方法や成果を、現実社会における実践的な諸領域に応用することを目的にしている。日本応用心理学会会員は、応用心理学に関係するあらゆる分野のルールを遵守し、すべての人びとの基本的人権および尊厳を認め、諸活動の対象となる人びとの生命・人権・人種等を尊重し、もってわが国の文化・福祉・平和の向上発展に貢献しなければならない。また他者がこのような規準を侵したり、自らの行為が他者によって悪用されることを黙認してはならない。

以上の精神に基づき、以下の条項を定めることにする。

1. 責任の所在

本学会会員は、自らの行う諸活動が人びとに与える影響の大きさを十分に認識し、社会的責任と自覚を持って取り組まなければならない。そのためには、常に自己研鑽に努め、自らの資質と技能の向上を図り、 学問の発展と社会的貢献に寄与していくものでなければならない。

2. 人権の尊重

本学会会員は、日本国憲法および国際人権規約に基づき、ウィーン宣言(1993 年 6 月 25 日 国連世界人権会議採択)を視野に入れるなどして、自らの研究や実践活動の対象となる個人や組織、社会に対して常にその尊厳を尊重しなければならない。

- 1) 個人のプライバシーを尊重し、基本的人権や社会的規範を侵す行為を行ってはならない。
- 2) 精神的・身体的な危害を加える行為を行ってはならない。

3. 説明と同意

本学会会員が、研究のための実験・調査・測定等、また組織活動・臨床活動・教育活動等の実践活動を行うときには、その対象者に事前に文書あるいは口頭で十分な説明を行い、同意を得なければならない。

- 1) 事前に説明を行うことができない場合には、事後に十分な説明を行う。
- 2) 研究または諸活動の対象者が判断できないときには、その代理の人に説明を行う。
- 3) 研究または諸活動の対象者に、その意志に基づいて参加の中断あるいは拒否ができることを説明する。 また、それによって対象者が不利にならないことを説明する。

4. 情報の管理

本学会会員は、研究または諸活動の透明性を確保し、得られた情報を厳重に管理し、社会規範の範囲を超えて他に漏らしてはならない。また、得られた情報を、本来の目的以外に使用してはならない。さらに、情報の管理に関して、他者からの批判を受けられる体制を整えなければならない。

5. 公開に伴う責任

本学会会員が行う研究や諸活動は、社会への貢献を考えるとともに、応用心理学の学問の自由と発展のために常に真摯な態度で臨むものでなければならない。また、その公開にあたっては、対象者のプライバシーを守り、苦痛や不利益を与えたり、社会的規範に反するものであってはならない。成果の公開については、本学会会員が自らの責任において常に慎重でなければならない。

本学会会員は、本学会が定める倫理綱領を十分に理解し、遵守しなければならない。また、常に倫理に基づいて行動するように努めなければならない。

本学会倫理綱領の運用に関しては、別に細則を定める。

日本応用心理学会会則

- 第1条(名称) 本会は日本応用心理学会(The Japan Association of Applied Psychology)と称する。
- 第2条(目的) 本会は応用心理学の研究の発展を促進し、隣接諸科学との交流を図り、もってわが国の文化 と福祉の向上発展に貢献することを目的とする。
- 第3条(事業) 本会は前条の目的を達成するために下記の事業を行う。
 - (1) 応用心理学の研究に関する諸業務との連絡,新分野の開拓,会員の親和増進
 - (2) 機関誌,その他の刊行物の編集および刊行
 - (3) 大会その他の必要な会合の開催
 - (4) 本学会認定「応用心理士」の資格認定
 - (5) 外部からの要請による斯学研究および応用業務の受託あるいは斡旋
 - (6) その他必要な事業
- 第4条(会員) 本会の会員は、正会員、名誉会員、賛助会員、および学生会員とする。

本会に入会しようとする者は、正会員の推薦により所定の手続きを経て、常任理事会の承認を得ることとする。

- 2 正会員の入会資格は、次のとおりとする。
 - (1) 四年制以上の大学で心理学およびその隣接分野を専攻した者
 - (2) 第1号に準じる者

正会員の会費は年額6.000円とする。

- 3 名誉会員は本会の正会員または正会員であった者で、本会のために著しい功績があった者であって、理事会の議を経た上で、総会の承認を得た者とする。なお、名誉会員は会費を納める義務を有しない。
- 4 賛助会員は本会の事業に賛同し、理事会の承認を経て、所定の会費をもって本会の事業に財政的援助をする者とする。

賛助会員の会費は、年額1万円以上とする。

5 学生会員は、四年制以上の大学で、心理学およびその隣接分野を専攻している 4 年次以上の学部在籍中の学生とする。

学生会員である者が、正会員として入会を希望する場合は改めて入会の申請を必要とする。

学生会員は、正会員の連名者として本学会大会の発表者となることができる。

学生会員は、正会員と同様に機関誌、ニュースレター等の配布、会務連絡を受けることができるが、応 用心理学研究掲載諸報告の連名者となることはできない。

また本会の業務に関する選挙権、被選挙権を有しない。

学生会員の会費は正会員の2分の1とする。

- 第5条(役員) 本会に次の役員を置く。理事長1名,副理事長1名,理事若干名,監事2名。
 - 2 副理事長を除く役員の任期は3か年とし、再任を妨げない。

- 第6条(理事長・副理事長) 理事長は常任理事の互選により選出される。
 - 2 理事長は本会の業務を総理し、本会を代表する。
 - 3 副理事長は当該年度の大会当番機関の代表者(大会準備委員長)がこれにあたる。ただし、理事長が 大会当番機関の代表者なる場合は次期大会当番機関の代表者がこれにあたる。

副理事長の任期は、前期大会終了の翌日から当該大会終了の日までとする。

大会当番機関は, 当該大会の前々年度総会において決定する。

- 4 副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときはこれに代わる。
- 第7条(理事・監事) 理事および監事は総会において選出される。
 - 2 理事は理事長および副理事長とともに理事会を構成し、本会の運営にあたる。 理事会は理事長が召集する。
 - 3 理事は互選により、常任理事若干名を選出する。常任理事は理事長および副理事長とともに常任理事 会を構成し、理事会の委託を受けて本会の運営を常時担当する。
 - 4 次期大会当番機関の代表者は前項の規定にかかわらず、その在任中は常任理事に就任する。
 - 5 監事は本会の会計監査の業務にあたる。
- 第8条(事務局長) 事務局長は理事長の指名による。
 - 2 事務局長は会の事務を統括する。
 - 3 事務局長は第7条の規定にかかわらず、その在任中は常任理事に就任する。
- 第9条(事務局幹事) 本会事務の必要に応じ、事務局に事務局幹事若干名を置く。事務局幹事は会員の中から理事長が委嘱する。
- 第10条(委員会) 本会の目的達成のために必要あるときは、委員会を設けることができる。委員会に関する規則は別に定める。
- 第 11 条 (総会) 総会は年 1 回開催の本会大会時に開く。ただし理事長において必要があると認めるときは 臨時総会を開くことができる。
- 第12条(退会および除名) 会員が退会を希望する場合には、退会届けを提出しなければならない。
 - 2 会員が不都合な行為をした場合は、理事会の議決によってこれを除名することができる。 所定の会費を一定期間以上納入しない会員については、常任理事会の議を経て、退会させることができる。
- 第 13 条 (事務局) 本会事務局を当分の間,東京都新宿区高田馬場 3-8-8 (株)国際文献印刷社内 (電話 03-5389-6491, FAX 03-3368-2822) に置く。
 - 2 事務局には、事務局長、事務局幹事および局員若干名を置く。
- 第 14 条 (会則改正) この会則の改正は、総会に出席した正会員の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。
 - 付則1 本会則は平成12年9月9日より実施する。
 - 2 本会則は平成 14 年 9 月 8 日より改正施行する。ただし、新役員の就任は平成 15 年 4 月 1 日とする。

日本応用心理学会認定「応用心理士」認定制度に関する規則

1. 日本応用心理学会認定「応用心理士」 認定制度規則

(趣旨)

- 第1条 日本応用心理学会(以下「本学会」という。)は、本学会会則第3条第4号に基づき、本学会会員の 専門職としての資質の向上を図るため、本学会認定「応用心理士」の認定の事業を行う。
 - 2 前項の事業を行うため、その必要な事項を、この規則に定める。

(認定審查委員会)

- 第2条 前条第1項の認定に必要な審査を行うため、本学会に日本応用心理学会認定「応用心理士」認定審 香委員会(以下「認定審査委員会」という。)を置く。
 - 2 前項の認定審査委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

(認定)

- 第3条 認定は、認定審査委員会の議を経て、本学会理事長が行う。
 - 2 認定の手続きに関し、必要な事項は、別に定める。

(認定の要件)

- 第4条 認定は、本学会に入会後満2年を経過した者で、次の各号の一つに該当し、かつ本学会員の専門職としての資質があると認められた者について、これを行うことができる。
 - (1) 学校教育法に定められた大学において、心理学専攻またはこれに準ずる学科を卒業した者(学位授与機構の審査により学士の学位を授与された者も含む。)。
 - (2) 本学会機関誌「応用心理学研究」に1件以上の研究論文を発表した者,または本学会の年次大会において2件以上の研究発表をした者。
 - (3) 認定審査委員会が応用心理学と関係があると認めた専門職で、3年以上の経験を有する者。
 - (4) 応用心理学と関係がある職で3年以上の経験を有し、本学会研修委員会企画の「研修会」に5回以上参加した者。

(認定の失効および取消)

- 第5条 認定を受けた者が、本学会会則第12条前段により退会したときは、その認定は効力を失う。
 - 2 認定を受けた者で、本学会会則第12条後段に定める行為が明らかになったときは、本学会理事長は、その認定を取り消すことができる。

(経理)

第6条 この事業に関する経理は、当分の間、本学会事務局が行う。

(改正)

- 第7条 この規則の改正は、本学会理事会の議を経て、総会で行う。
 - 附則 1. この規則は、平成5年9月11日から実施する。
 - 2. 平成14年9月8日より一部改正実施する。